



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第13号

例会日/2014年10月2日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

「職業奉仕月間にちなんで」 職業奉仕委員会 菅野 晋 委員長
「米山月間にちなんで」

米山記念奨学委員会 日比野恒夫 委員長、白岩 康夫 会員

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘 丹治正博 会長
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 岩山知弘 会員
「四つのテスト」唱和 加納武志 会員
お客さま並びに来訪ロータリアン紹介
会長挨拶 丹治正博 会長
食 事
幹事報告 坪井大雄 幹事
各委員会報告
●プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 三浦康伸 委員
*「福島いのちの電話」主催イベント紹介
茂田士郎 会員



◎本日のプログラム

開会点鐘 丹治正博 会長



職業奉仕月間に思う

二〇一四―一五年度会長 丹治 正博

今月十月は国際ロータリーが定める特別月間「職業奉仕月間」であります。私がロータリークラブに入会した頃、先輩方から教えて頂いたことですが「職業奉仕とはロータリー特有の考え方、ロータリー活動の魅力であり真髓なのだ。」ただし、この職業奉仕という言葉は日本語として捉えたときに、辞書を引いても載っていませんし、その意味することを理解するのはなかなか難しいと思います。世間では、ロータリークラブとライオンズクラブの違いが理解されておりませんし、近年、世界のロータリーの趨勢をみても、他の団体と区別つかない単なる慈善団体としてしか見られない、まさにロータリーらしさが分からなく

なってきたことを感じます。それは、近年、日本国内のクラブにおいて会員減少に歯止めがかからなくなってきたことと無関係ではないと思われまふ。ロータリーが特徴の無い団体として魅力が感じにくくなってきた原因の一つに、私は翻訳の問題もあるのかと思っています。少なくとも昨年までのロータリーの綱領には、意味不明の文言が並んでおり、せっかく入会しながら、三年未満で退会される会員が多いのも事実であります。よく意味が分からないけれど、お題目のように唱えていけばそのうち有難くなる、などという考え方は今の世の中では通用しません。そうしたことに危機感をもった人々からの声によってでしょうか、ロータリーの定款第四条の日本語訳がようやく「ロータリーの目的」と改正され、その内容も少しづつ理解しやすくなりました。

そこで、改正された「ロータリーの目的」の第二項に記されている「職業奉仕」について読んでみますと、次の三つの部分からなっています。一、実践の結果として、職業上の高い倫理基準を求めること 二、役立つ仕事はすべて価値あるものという認識を持つこと(世に認められている職業に貴賤はない) 三、各自の職業を通して、社会に奉仕する機会とし、尚、高潔なものとすること。だいぶ分かりやすくなりましたが、まだ難解な部分も残っています。

私は、神社の神職として日々神前に祝詞を奏上する務めを通じて感じるのですが、日本には古来、「言霊(ことだま)」という考え方があり、我々が発する言葉には霊力が籠もっているから、きれいな言葉遣いを心掛けねばならない、と教えられてきました。アメリカで生まれた職業奉仕という考え方を、日本に導入するにあたっては、翻訳された日本語に魂を吹き込まねばなりません。そのためには、日本人が古来より育んで来た倫理観や道徳観抜きには、殺伐とした言葉の羅列にしかならないと思います。

思うに、外来の概念と格闘するのも結構ですが、その結果、消化不良を起こしては本末転倒であります。自分の職業を天職として、世の為人の為に、感謝と無私の心で身を粉にして働くことが美德、との昔からの日本人の勤労観こそが、日本の職業奉仕なのではないでしょうか。この機会に、職業奉仕というロータリーの真髓に向き合ってみることをお勧めします。

米山月間にちなんで

米山奉仕委員会 日比野恒夫 委員長



10月は米山月間です。奨学生を昨年に続き今年も引き受けることなく残念です。

前年度は、当クラブのバスト会長白岩会員にお願いし福島大学のベトナム留学生8人に奨励金を贈呈致しました。

留学生とはその後の交流が中々難しく、委員会として9月の理事会で昨年のベトナム留学生と今年の留学生を例会に招待し交流を深めたいとの案が承認されました。

本日は先日福島で開催されました米山記念奨学会委員会セミナーで、米山カウンセラー経験者の体験&事例報告の中で、当クラブの白岩会員の体験報告が有りとても感銘を受けました。会員の皆様にも奨学生との交流がより分かり易くご理解頂けると、スピーチをお願いいたしました、宜しくお願い致します。

福島ロータリークラブが世話した米山奨学生2名について

白岩 康夫 会員



福島ロータリークラブは2008年から2011年にかけて、福島大学に留学中のベトナム人2名の米山奨学生を世話クラブとして受け

入れたのでその事例について報告します。

1名はファム・ホアン・サム君で2008-09年の1年間、カウンセラーは佐藤順一会員。もう1名はグエン・ティエム・ティさんで2009-11年の2年間です。カウンセラーは私でした。最初にサム君について申し述べます。

●ファム・ホアン・サム君

1978年 ベトナム・ハノイ生まれ
2002年 ベトナム国家大学ハノイ校・経済学部卒業。
2007年 福島大学・経営学研究科・修士課程入学。
2007年4月 福島市舟場町の福島大学国際交流会館に同居(ファム・ドー・フォン・ナーさんと結婚していた)。三宅新聞店で新聞配達のアルバイト。
2008年-09年 米山奨学生
2008年7月 女兒アイちゃん(本名ファム・バオ・チャン)誕生、福島赤十字病院の世話を受ける。
2009年 福島大学・経営学研究科・修士課程終了。修士論文:「日本における外国人研修・技能実習生に関する諸問題ーベトナム人の研修・実習生を中心にー」
2009年4月 (株)岩井コスモ証券に入社。

◎米山奨学生終了時の感想

奨学金を頂いたお蔭で、経済的に安心でき、大学の勉強に集中できた。家族や友人たちと離れ、外国で生活している私たちにロータリアンの皆様から経済的な支援だけでなく、精神的な援助もしていただいた。そのお蔭で修士論文を書き上げることが出来た。これから社会人になってもロータリアンの方々と交流を続けたいと思っている。何か役に立つことがあったら是非連絡してほしい。

ー現在でも交流が続いています。

※毎年9月下旬に行われている「ベトナムフェスティバル2014」(東京代々木公園)への参観

※シンポジウム「福島の復興に向けベトナムとの交流を探る」でのシンポジスト。演題「ベトナム経済状況」

※「ふくしまフェスティバルinハノイ」会長挨拶文のベトナム語への翻訳

●グエン・ティム・ティさん

1984年 ベトナムバクニン市生まれ
2002年6月 高等学校卒業
2002年10月 テレビ専門学校入学
2004年10月 同校を卒業 新聞社入職を志す、しかし目標を変更し、2005年10月に来日し日本語学校に入学。
2007年4月 福島大学経済経営学類入学。企業経営専攻 親戚の子らと市内のアパートに居住「茶寮」おりおりでアルバイト
2009年-11年 2年間の米山奨学生 勉強家で図書館にいたことが多く友人の評
2009年9月 石川ロータリークラブ夜間例会に出席。米山奨学生の体験について卓話。
加藤義朋RI第2530地区米山記念奨学会委



◀「結・ゆいフェスタ2014」のポスター。福島市国際交流協会が毎年開催しています。今年はエジプト、中国、ブラジル、ベトナムなどが出展しています。



▲「結・ゆいフェスタ2013」にて。ふくしま・ベトナム友好協会のブース、昨年度奨学金を頂いた福島大学ベトナム人留学生の人たち



▲「結・ゆいフェスタ2014」にて。ふくしま・ベトナム友好協会のブース、今年入学の学生が多いです。



◀福島を離れる前に令嬢アイちゃんを連れて挨拶に来たサム君一家、拙宅にて。(2008年12月14日)



◀サム君一家、ベトナムフェスティバルに参加。(東京・代々木公園で2011年9月17日)



◀シンポジウム「福島の復興に向けベトナムとの交流を図る」のシンポジストとして。(2013年9月11日)



◀フォンドン大学短期研修生と福島乳業見学。ティエムさんは同行。(2013年7月16日)

員会委員長、白岩康夫カウンセラーが同行。
2011年3月 福島大学卒業後、西新宿の(株)エスケーホームプロパティに就職、不動産を主とする企業だが、ベトナムへの飲食ビジネスを展開する計画があり、ティムさんを採用した。

2011年秋 ベトナム人のラー・トゥアン・ジュンさん(日立製作所本社の情報・通信システム、金融システム事業部勤務)と結婚し退職、2012年10月に女儿ラムちゃんを出産した。その後はECC外語学院でベトナム語の非常勤講師をしている。

一福島を第二の故郷と思っていて、去年は家族ともども「おりおり」に里帰りをしている。

米山奨学生として世話したベトナム人2名の経過は以上の通りです。結論的には、2人とも米山奨学金は大学卒業間際の大事な時期に大いに役立っていて有効であったこと、卒業後は立派な社会人として活躍していること、そしてその恩恵を忘れず今でも交流を続けていて、日本と祖国との架け橋の役目を担い続けていると言えます。

ロータリーの豆知識

第13回

奉仕の理念 2つのモットー

日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏は「This Rotarian Age」「ロータリーの理想と友愛」の翻訳に当たって、「The Ideal of Service」を「サーヴィス理想」と訳しましたが、2013年、ロータリーの綱領の全面的な改訂に伴い、「奉仕の理想」から、「奉仕の理念」と訳されることになりました。

また、数多いロータリーの公式文書の中で奉仕理念に触れているのは「決議23-34」のみです。

決議23-34には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超私の奉仕」“Service above self”の哲学であり、これは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“He profits most who serves best”(*)という実践的な倫理原則に基づくものである。」と定義されています。

すなわちロータリーには二つの理念があり、その一つはシェルドンが提唱した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“He profits most who serves best”のモットーで表現される職業奉仕の理念であり、もう一つは、他人のことを思い遣り、他人の為に尽くすという「超私の奉仕」“Service above self”のモットーで表現される人道的奉仕理念だと言うことができます。

さらに、昔の公式名簿(Official Directory)の最終ページに記載されているBrief History of Rotaryには、奉仕の理念とは「他人のことを思い遣り、他人のために尽くす」“thoughtfulness of and helpfulness to others”という解釈がつけられています。

ポールハリスはその著書の中で、ロータリーの「奉仕の理念」について『ロータリーの概念する奉仕の理念とは、物の過程の最初に奉仕を置くものである。最も愚かな方法は金銭に集中することである』と述べ、さらに『有史以来、偉人中の偉人たちが、その言葉や態度で示したものは「奉仕第一、自己第二」“Service above Self.”という、まさにロータリーが要約した教義(スローガン)を忠実に守ることであった。』と説明しています。

※採択された審議会決議案10-165により、RIの第二のモットー(標語)「One Profits Most Who Serves Best」に改定された(邦訳に変更はない)。
(文責/丹治正博)

私のひとこと

阿部 力哉 会員



私は第二次大戦直後に復活した日本プロ野球の阪神タイガースの長年のファンである。昭和二十二年に宮城の奥さんの実家に疎開していた若林が阪神の監督兼投手となったのを河北新報で知った。私はこれまでプロ野球を全く知らなかったが、東北に縁のある選手がいる猛虎阪神のファンとなり今日まで続いている。ダメ虎と言われ一向に成績の上がらない阪神が、今年はリーグ戦二位で、CSに進出した。広島に二連勝、続いて巨人に四連勝して、一戦も落とさずにセ・リーグ代表に決まった。

この6戦をテレビで観ながら、年甲斐もなくわくわくして楽しい時間を過ごせた。日本シリーズでも是非、優勝を願っている。

例会プログラムのご案内

- 10月16日(木) 理事会承認休会(1回目)
- 10月23日(木) 12:30～「辰巳屋」
新会員スピーチ
総合学習塾アビリティ代表 佐藤朋幸会員
*プログラム案内 *「友」紹介 *血圧測定
- 10月30日(木) 12:30～「辰巳屋」
クラブ協議会(野崎ガバナー公式訪問前)

10月誕生祝い

～皆さまおめでとうございます～

丹治 正博 会員	昭和 30年 10月 4日
後藤 忠久 会員	昭和 30年 10月 6日
岡田 新也 会員	昭和 48年 10月 12日
阿部 力哉 会員	昭和 7年 10月 23日
海野 卓哉 会員	昭和 22年 10月 27日
清水 義之 会員	昭和 32年 10月 31日

職業奉仕月間にちなんで

職業奉仕委員会 菅野 晋 委員長



10月は、職業奉仕月間ということで職業奉仕について簡単にお話したいと思います。

職業奉仕は、ロータリーの5大奉仕の中で、最もロータリー的な理念でありながら、その内容が理解しづらい側面も持っています。

会員それぞれの商売・業務などを通して、それぞれの会社・事業所などが適正な仕事により、適正な利益を得ることにより、それぞれの会社・事業所の従業員や家族、そしてその地域や社会に貢献することです。

職業奉仕の概念は、1910年にシカゴロータリークラブのアーサー・フレンドリック・シェルドンが提唱してものです。その内容を的確に表現しているものとしては、ロータリーの目的の第2項にあります。「職業上の高い倫

理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」また、1915年のRI総会で採決された、全11項からなる「職業倫理訓の宣言」には、その内容がより具体的に表現されています。(ただこの宣言は1980年にRIで削除されました)

さらに、ロータリーの職業奉仕の理念を端的に表現しているものとしては「四つのテスト」があります。これは、1932年にシカゴロータリークラブのハーバート・テラーが提唱したのですが、訳した文章が簡潔すぎて解りづらい点があるので、内容をその理念に基づいて忠実に約した文章があるので、ここで紹介したいと思います。

- (1) 嘘偽りがないか
- (2) 全ての取引先に対して公正か
- (3) 取引が店の信用を高め、より良い人間関係を築き、取引先を増やすか
- (4) その取引によって全ての取引先が適正な利潤を得られるか

ニコニコBOX報告

〈報告〉岩田 尚志 委員

本日のニコニコBOX投入額 35件 ¥70,000 累計 ¥926,000

〇 幡 研 一 会 員

先週二十五、二十八日、台北東南RCを訪問してきました。

〇 加藤 義 朋 会 員

福島中央RCの方々に同行してきました。むこうの方々は、日本人よりも「和の心」を持っておられ、大歓迎を受けました。台北帝国大学医学部博物館を案内して頂きました。

〇 田 苗 博 会 員

再生可能エネルギーの系統接続については、お騒がせしております。詳しい説明をご希望の方は、お問い合わせいただければ幸いです。

〇 白岩 康 夫 会 員

本日、米山奨学生のスピーチをさせていただきます。

〇 後藤 忠 久 会 員

誕生日プレゼントありがとうございます。五十年代最後の年になります。白岩先生のスピーチを楽しみに。

〇 菅 野 晋 会 員

今月は職業奉仕月間となっております。宜しく願います。

その他／丹治正博／坪井大雄／清水義之／海野卓哉／中島健至／門脇 渉／渡邊 広重／高橋 聡／相良元章／岩田尚志／三宅 喬／志村光昭／児玉健夫／牧野吉晃／渡邊又夫／安藤錬雄／有田吉弘／佐藤武彦／田沼紀美子／三浦康伸／茂田士郎／佐藤英典／緒方啓道／安藤健次郎／八巻恵一／氏川守義／古俣 猛／加納武志／松浦敬裕



パンダハウス募金で報告 (森川英治社会奉仕委員長)

10月2日

8,577円

累計 106,493円